



# 2021年12月期 第2四半期 決算説明会

(2021年8月26日)

千代田インテグレ株式会社

(東証1部：6915)

## 2021年12月期 第2四半期連結業績

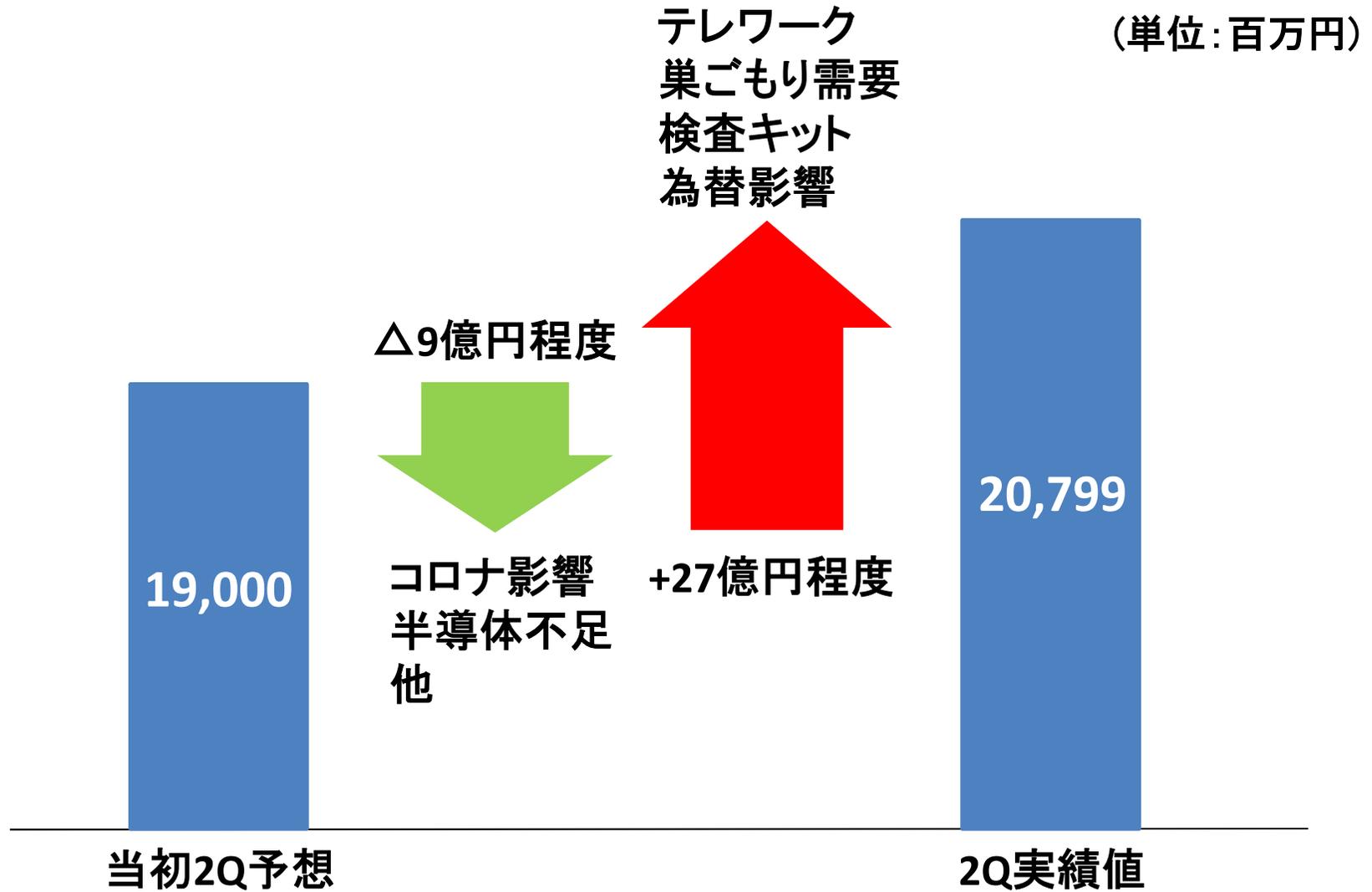
	2020年	2021年	増減額	増減率
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	16,022	20,799	4,777	29.81%
売上総利益	3,157	4,458	1,301	41.21%
	19.7%	21.4%		
営業利益	388	1,466	1,078	277.71%
	2.4%	7.0%		
経常利益	478	1,671	1,193	249.27%
	3.0%	8.0%		
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	153	1,127	974	633.94%
	1.0%	5.4%		
為替レート /US\$	108.23円	107.82円		

新型コロナウイルス感染症の世界的な再拡大に収束が見通せない中、  
米国・中国を中心とした需要が徐々に回復してまいりました。

## 当第2四半期連結業績のポイント

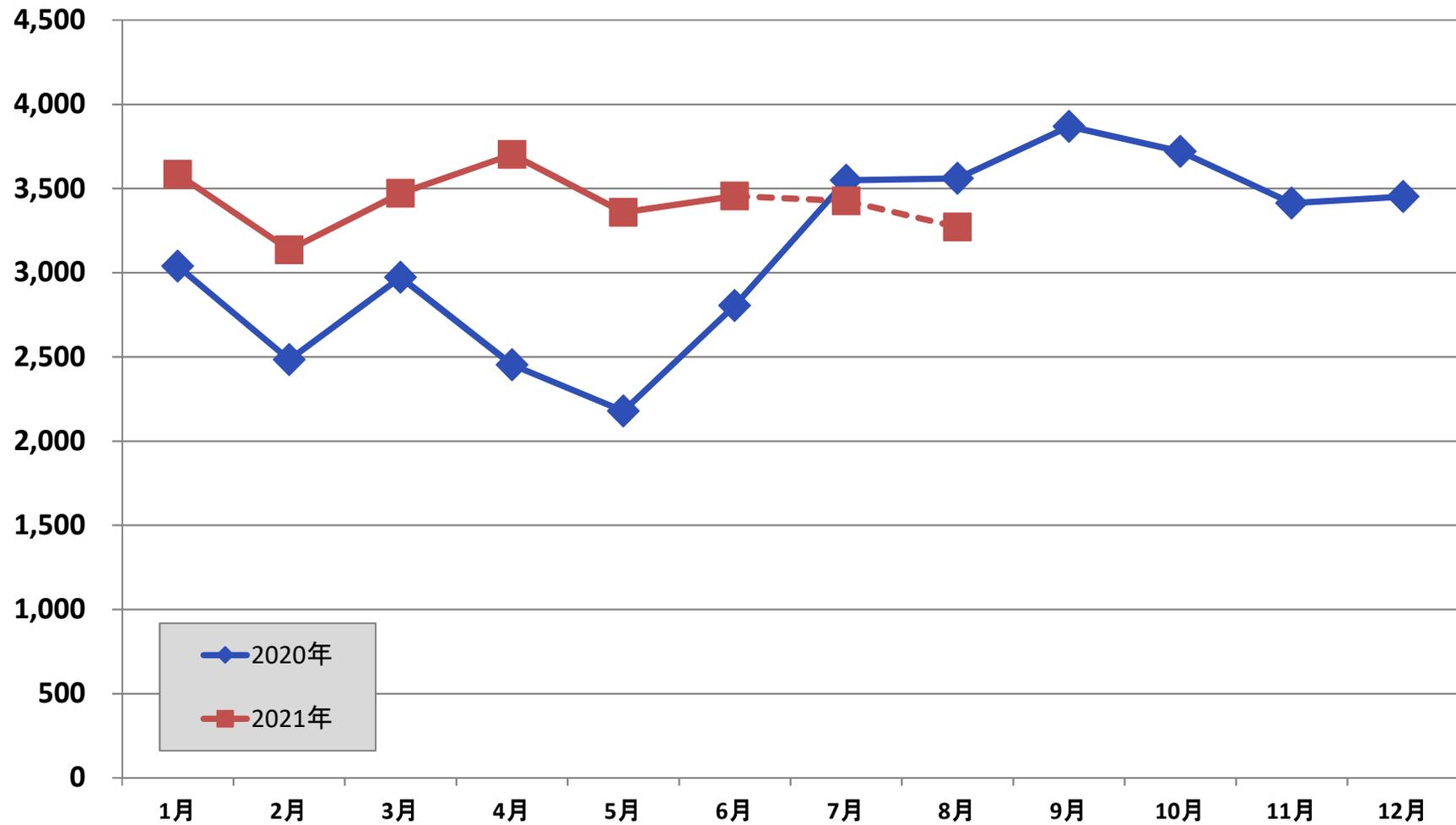
<p>売上高</p>	<p>前期比47.8億円増収                  ✓為替の影響額 +5.1億円                  ✓業種別純増額 +42.7億円                  (OA機器+6.4億円、AV機器+19.1億円、                  自動車+10.3億円、通信機器△3.3億円、電子デバイス△0.9億円 など)</p>
<p>営業利益</p>	<p>前期比10.8億円増益                  ✓為替の影響額 +0.7億円                  ✓売上総利益 +11.7億円 (19.7%→21.4%)                  ✓販管費の増加により △1.6億円</p>
<p>親会社株主に                  帰属する                  当期純利益</p>	<p>前期比9.7億円増益                  ✓為替差益 1.5億円                  ✓特別損失 (天津工場閉鎖に伴う損失) 0.2億円                  ✓法人税等の増加 3.8億円</p>

# 連結の売上高増減要因



## 連結の月次売上高の傾向

(単位: 百万円)



## 2021年12月期 単体業績

	2020年	2021年	増減額	増減率
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	5,009	6,146	1,137	22.7%
売上総利益	1,002	1,241	239	23.9%
	20.0%	20.2%		
営業利益	△272	△120	152	-
	-	-		
経常利益	59	1,573	1,514	2566.1%
	1.2%	25.6%		

## セグメント別業績（日本）

単位： 百万円	2020年	2021年	増減額	増減率
外部顧客売上高	4,040	4,583	543	13.4%
セグメント間の 内部売上高	1,281	1,933	652	50.9%
合計	5,321	6,517	1,196	22.5%
営業利益	△ 285	△ 79	206	—
営業利益率	—	—		

※日本地域には国内子会社 1 社が含まれています

景気の持ち直しの兆しが見え始める中、  
主要分野を中心に堅調に推移しました。

## セグメント別業績（東南アジア）

単位： 百万円	2020年	2021年	増減額	増減率
外部顧客売上高	5,286	7,872	2,586	48.9%
セグメント間の 内部売上高	69	162	93	134.8%
合計	5,355	8,034	2,679	50.0%
営業利益	191	637	446	233.5%
営業利益率	3.6%	8.1%		

新型コロナウイルスの感染再拡大により、一部経済活動が制限されたものの、AV機器向けが伸長しました。

## セグメント別業績（中国）

単位： 百万円	2020年	2021年	増減額	増減率
外部顧客売上高	4,799	6,101	1,302	27.1%
セグメント間の 内部売上高	356	591	235	66.0%
合計	5,156	6,692	1,536	29.8%
営業利益	215	577	362	168.4%
営業利益率	4.5%	9.5%		

早期に経済活動を再開させ、  
ゲーム機器・自動車向けが好調を維持しました。

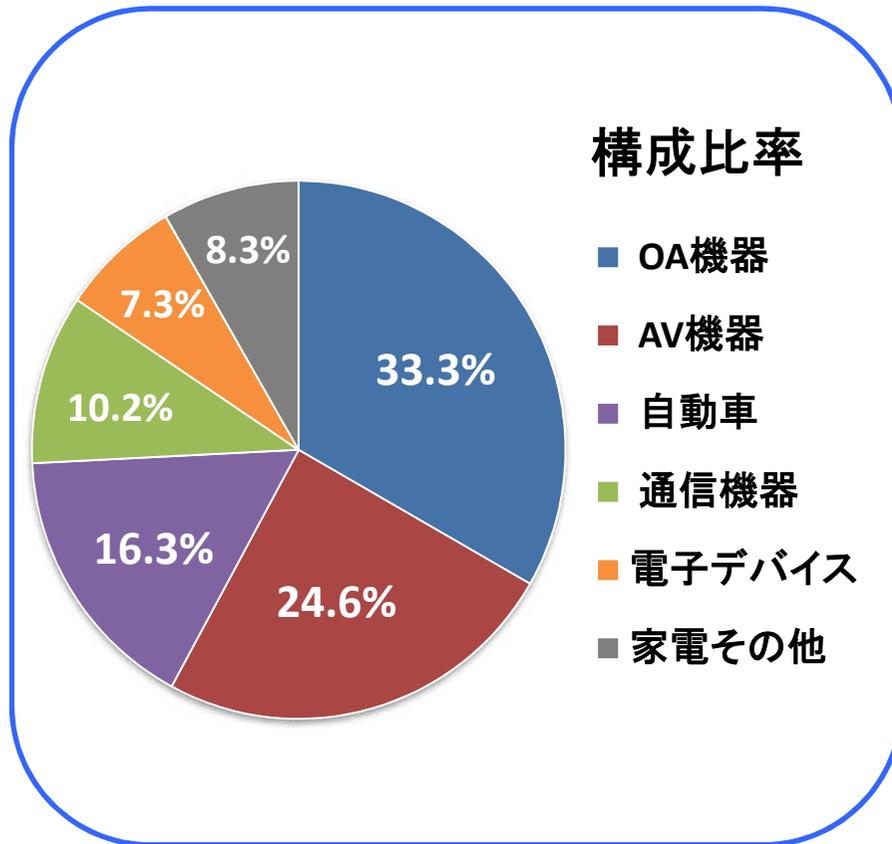
## セグメント別業績（その他）

単位： 百万円	2019年	2020年	増減額	増減率
外部顧客売上高	1,895	2,242	347	18.3%
セグメント間の 内部売上高	15	63	48	320.0%
合計	1,910	2,306	396	20.7%
営業利益	△ 16	49	65	—
営業利益率	—	2.2%		

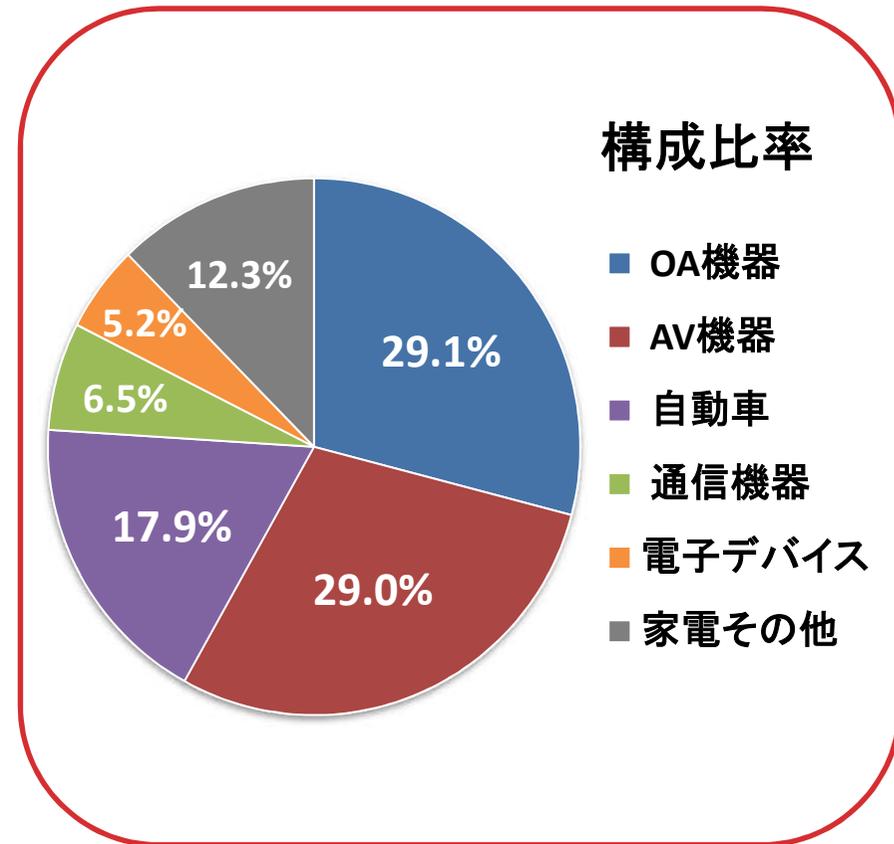
景気対策の効果により経済の回復基調が続きました。  
AV機器向けが順調に推移し、自動車向けが伸長しました。

## 売上高に占める主要業種の構成比（連結）

2020年

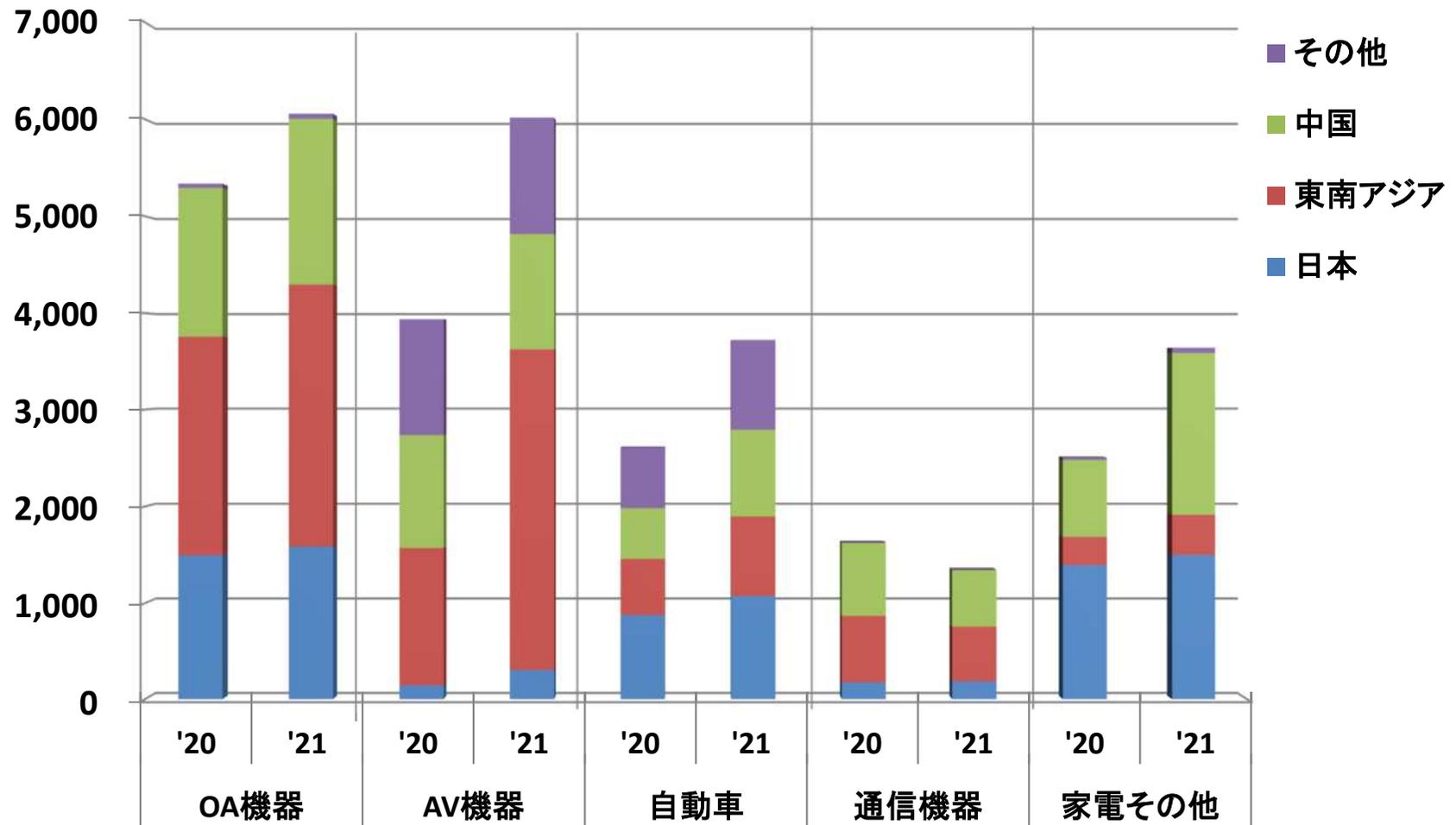


2021年



## 業種別売上高の比較（連結）

（単位：百万円）



## 設備投資と減価償却費

単位：百万円		2020年 通期実績	2021年 第2四半期	2021年 (通期予測)
設備投資	日本	358	448	900
	海外	643	498	800
	合計	1,002	946	1,700
減価償却費		1,196	681	1,200

### 2021年第2四半期の主な設備投資

- ・機械設備 : 338百万円
- ・土地建物 : 357百万円

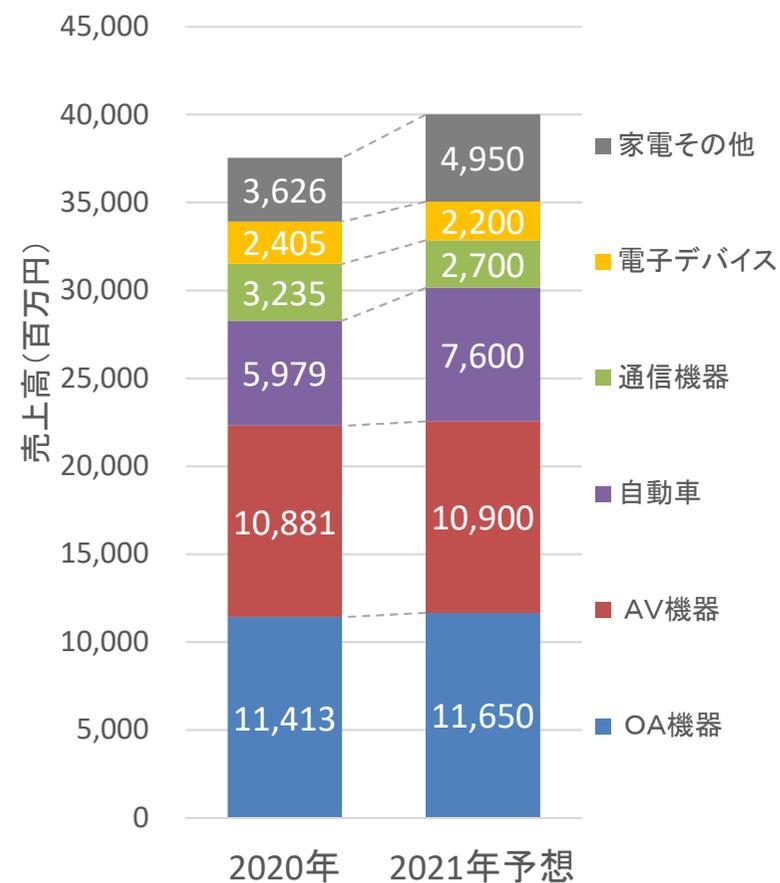
### 2021年の設備投資(下半期の予定)

- ・機械設備 : 400百万円
- ・土地建物 : 300百万円

## 2021年12月期 連結業績見通し

	2019年	2020年	2021年
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)	予想 (構成比)
売上高	38,358	37,544	40,000
営業利益	1,921	1,799	2,500
	5.0%	4.8%	6.3%
経常利益	2,172	1,808	2,700
	5.7%	4.8%	6.8%
親会社株主に 帰属する 純利益	2,058	882	1,900
	5.4%	2.3%	4.8%
為替レート /US\$	109.03円	106.76円	105.00円

### 主要業種別の売上予想



## 事業領域の拡大に向けた進行中の活動

- ◆ バッテリーメーカーへの拡販
- ◆ 自動車向け（Tier1・2）からの受注
- ◆ ヘルスケア（健康・医療）分野への拡販（コロナ関連含む）

顧客

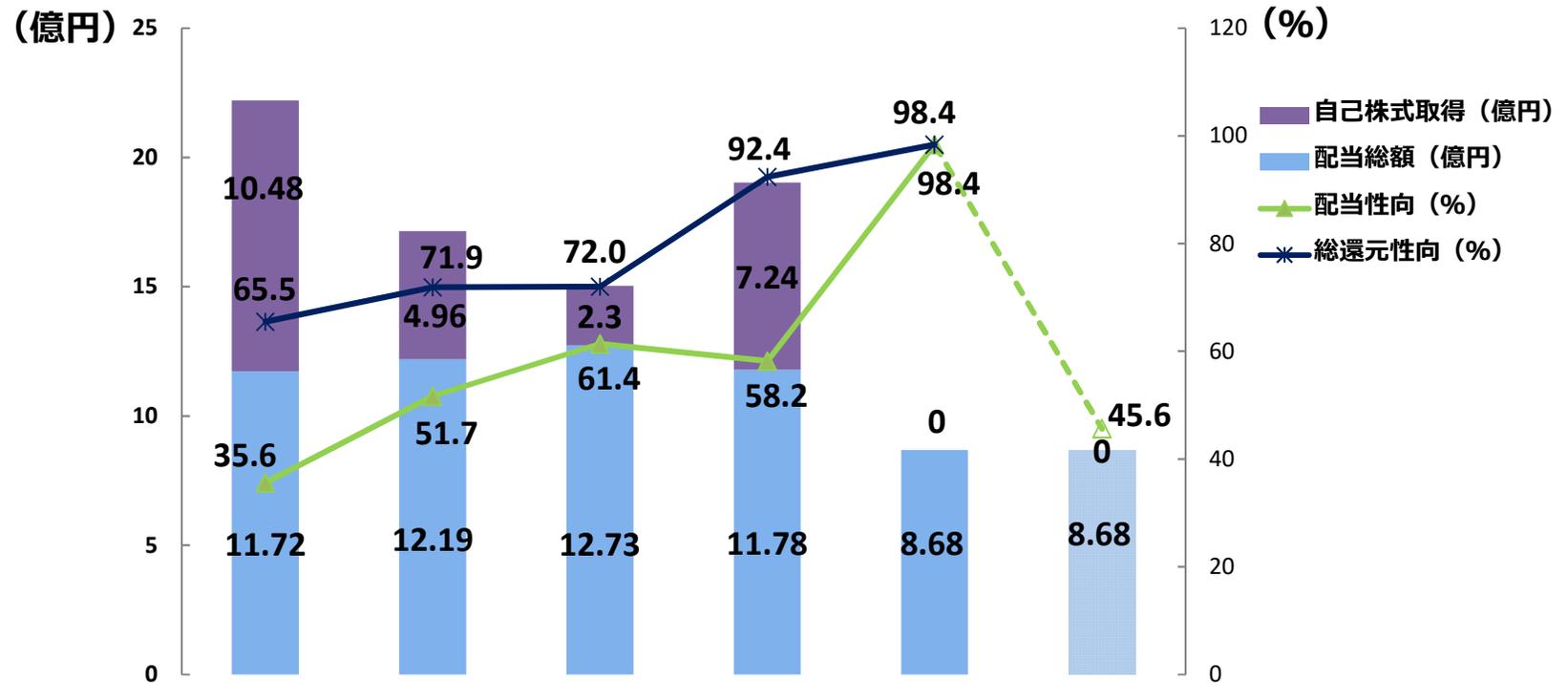
商品

地域

- ◆ LCPフィルムの上市および販売活動開始
- ◆ EVバッテリー向け部材の受注
- ◆ 自動運転支援関連部品の受注
- ◆ 新型コロナウイルス検査キット  
資材の販売（中国）

- ◆ 日本：豊橋工場再稼働（自動車向け拡販）
- ◆ 東南アジア・中国：機能移転と拠点の再構築
- ◆ 米国：自動車向けの販売強化

# 株主還元の様況



	'16.12月期	'17.12月期	'18.12月期	'19.12月期	'20.12月期	'21.12月期 (予想)
期末配当 (円)	90	95	100	95	70	(70)
配当総額 (億円)	11.72	12.19	12.73	11.78	8.68	(8.68)
配当性向 (%)	35.6	51.7	61.4	58.2	98.4	(45.6)
自己株式取得 (億円)	10.48	4.96	2.3	7.24	0	(0)
総還元性向 (%)	65.5	71.9	72.0	92.4	98.4	(45.6)

# 事業領域拡大の取り組み

## 『Ohio Factory』 設立

【目的】アメリカ自動車市場における売上拡大



### ◆住所

619 Mill Park Drive,  
Lancaster, Ohio 43130

### ◆物件

建物：4,683㎡

土地：26,688㎡



## 本資料の取扱上のご注意

本資料で記述されている将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

その見通しは世界経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。

実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性もありますことをご承知おきください。